

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年1月28日

上場会社名 株式会社 スタートトゥデイ
 コード番号 3092 URL <http://www.starttoday.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO
 四半期報告書提出予定日 平成22年2月15日
 配当支払開始予定日 —

上場取引所 東

(氏名) 前澤友作
 (氏名) 柳澤孝旨

TEL 043-213-5171

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	11,617	47.3	2,101	27.5	2,113	27.2	1,201	26.1
21年3月期第3四半期	7,888	—	1,647	—	1,661	—	952	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	3,297.99	3,272.10
21年3月期第3四半期	7,958.56	7,788.09

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	11,018	6,235	56.6	17,088.80
21年3月期	8,119	5,342	65.7	14,663.65

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 6,232百万円 21年3月期 5,338百万円

(注)前連結会計年度より連結財務諸表を作成しているため、平成21年3月期第3四半期の対前年同期増減率については記載していません。

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	—	—	850.00	850.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	1,200.00	1,200.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,300	52.4	3,120	41.7	3,130	40.9	1,750	37.7	4,806.75

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
② ①以外の変更 無
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- | | | | | |
|----------------------|-------------|----------|-------------|----------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 22年3月期第3四半期 | 364,701株 | 21年3月期 | 364,071株 |
| ② 期末自己株式数 | 22年3月期第3四半期 | —株 | 21年3月期 | —株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 22年3月期第3四半期 | 364,307株 | 21年3月期第3四半期 | 119,740株 |

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであります。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合がありますので、この業績予想に全面的に依拠して投資等の判断を行うことはお控えください。
- 平成21年3月1日付で普通株式1株につき3株の株式分割を行っております。

・定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、徐々には海外経済の回復基調に伴う持ち直しの兆しが見られたものの、政府によるデフレ宣言をはじめ、景気の下振れ懸念が払拭できない状況が継続しております。同様に、個人消費動向についても、家電品等エコポイント効果による上向きの効果が表れた分野も一部見られましたが、支出に対応する実収入の低下基調は継続しており、総じて先行き不透明感が拭えない状況となっております。また、当社グループが軸足を置く衣料品小売業界におきましても、消費マインドの冷え込みによる影響等引き続き厳しい経営環境にありました。

このような状況の中、当社グループにおきましては、当連結会計年度を挑戦の一年と位置づけ、主力のEC事業により一層注力してまいりました。当第3四半期連結累計期間におきましては、「A BATHING APE®」によるモールパーク「BAPE®LAND」をはじめ、「MARGARET HOWELL」、「TOMMY/tommy girl」、「ZOZOGOLF」、「ZOZOBAG&SHOES」、(株)エイ・ネットが展開する6ショップなどの新規ショップの出店、平成21年4月1日より実施している1年間を通じた全商品送料無料キャンペーンなど、お客様へ提供するサービスの更なる強化を図ってまいりました。また、初の試みとなるテレビコマーシャルをはじめとした積極的な広告宣伝を実施してまいりました。これら施策が奏功し、会員数を順調に増加させることができました。平成21年12月末時点の会員数は1,761千人（前連結会計年度末比496千人増）、同様にアクティブ会員（注1）数は648千人（同212千人増）となっております。

また、前連結会計年度より開始したメーカー自社EC支援事業（注2）におきましては、ZOZOTOWNでも人気の3ブランド「And A」、「HYSTERIC GLAMOUR」、「UNITED ARROWS」に加え、百貨店業界のアパレル部門トップである(株)伊勢丹及び大手アパレルメーカーである(株)オンワード樫山の自社ECサイト支援業務を新規に獲得することができました。

以上の結果、売上高は11,617百万円と前年同期比3,729百万円（前年同期比47.3%増）の増収、営業利益は2,101百万円と前年同期比453百万円（前年同期比27.5%増）の増益、経常利益は2,113百万円と前年同期比452百万円（前年同期比27.2%増）の増益、四半期純利益は1,201百万円と前年同期比248百万円（前年同期比26.1%増）の増益となりました。

（注1）アクティブ会員：過去1年以内に1回以上購入した会員

（注2）メーカー自社EC支援事業：当社ECサイト「ZOZOTOWN」運営のために構築している自社システム、物流インフラを活用し、アパレルメーカーが独自に運営するECサイトのシステム開発、デザイン制作、物流請負、マーケティング支援など、必要に応じて各種フルフィルメント関連業務を支援するものであります。当該受託事業は、当社グループの将来戦略の一つである収益モデルの多角化の一環として行うものであり、ファッション関連マーケットにおけるBtoB領域への事業展開の端緒となるものであります。

なお、事業の種類別セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(1) EC事業

a. ストア企画開発事業

平成21年12月末現在、ストア企画開発事業では41ショップを運営しており、当第3四半期連結累計期間の売上高は7,195百万円と前年同期比1,986百万円（前年同期比38.1%増）の増収、売上高全体に占める割合は61.9%（前年同期66.0%）となりました。

また、同期間における商品取扱高（販売価格ベース）は、商品売上高と同額となりますが、商品取扱高全体に占める割合は29.1%（前年同期32.7%）となりました。

b. ストア運営管理事業

平成21年12月末現在、ストア運営管理事業では105ショップを運営しており、当第3四半期連結累計期間の売上高は4,222百万円と前年同期比1,676百万円（前年同期比65.9%増）の増収、売上高全体に占める割合は36.4%（前年同期32.3%）となりました。

また、同期間における商品取扱高（販売価格ベース）は17,508百万円と前年同期比6,774百万円（前年同期比63.1%増）の増収、商品取扱高全体に占める割合は70.9%（前年同期67.3%）となりました。

メーカー自社EC支援事業につきましては、平成21年12月末現在、6件の受託業務を行っておりますが、金額（売上高及び商品取扱高）が僅少なため、上記ストア運営管理事業の数値に含めております。

(2) その他

その他の売上として、メディア事業、カード事業及び初期出店料等がありますが、当第3四半期連結累計期間におけるその他の売上高は199百万円と前年同期比66百万円（前年同期比49.7%増）の増収、売上高全体に占める割合は1.7%（前年同期1.7%）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて39.2%増加し、10,138百万円となりました。これは、現金及び預金が591百万円、売掛金が1,268百万円、有価証券が200百万円及び商品が628百万円増加したことなどによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて4.9%増加し、879百万円となりました。これは、工具器具備品が31百万円増加したことなどによるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて35.7%増加し、11,018百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて74.7%増加し、4,534百万円となりました。これは、買掛金が193百万円及び受託販売預り金が1,445百万円増加したことなどによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて37.6%増加し、249百万円となりました。これは、退職給付引当金が49百万円増加したことなどによるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて72.2%増加し、4,783百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて16.7%増加し、6,235百万円となりました。これは、利益剰余金の増加892百万円などによるものであります。その内訳は、当四半期純利益1,201百万円の計上、配当309百万円の支払になります。

(キャッシュ・フローについて)

当第3四半期末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、5,905百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とその要因は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は1,216百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益2,113百万円の計上による増加要因及び法人税等の支払額1,157百万円による減少要因があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は116百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出112百万円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果減少した資金は307百万円となりました。これは主に、配当金の支払額309百万円があったことによるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第4四半期連結会計期間につきましては、依然として景気の先行きの不確定さが拭えない状況が続き、同様に個人消費動向も停滞基調が継続するものと見込んでおります。

一方、当社グループの業績につきましては、年末年始にかけて実施したテレビコマーシャルの効果もあり、平成22年1月1日より開始したウインターセール「BOMB A SALE」が好調に推移しております。また、その勢いを春物シーズンが本格化する2月～3月へと繋げていくべく、お客様に対しより一層魅力のある商品、サービスを提供していく所存であります。

なお、通期業績予想につきましては、平成21年10月29日に公表した平成22年3月期通期の連結業績予想数値に変更はありません。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
該当事項はありません。

- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,405,001	4,813,086
売掛金	2,631,555	1,363,434
有価証券	500,000	300,000
商品	1,177,875	549,473
その他	423,997	254,792
流動資産合計	10,138,428	7,280,787
固定資産		
有形固定資産	430,203	395,204
無形固定資産	54,824	66,278
投資その他の資産	394,892	377,589
固定資産合計	879,919	839,072
資産合計	11,018,348	8,119,859
負債の部		
流動負債		
買掛金	606,112	412,383
受託販売預り金	2,425,489	979,493
未払法人税等	551,600	652,134
賞与引当金	46,237	70,984
ポイント引当金	207,123	146,298
その他	697,472	334,598
流動負債合計	4,534,035	2,595,892
固定負債		
退職給付引当金	140,634	90,784
役員退職慰労引当金	108,464	90,206
固定負債合計	249,098	180,990
負債合計	4,783,134	2,776,883
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,357,086	1,355,447
資本剰余金	1,325,284	1,323,646
利益剰余金	3,553,535	2,661,516
株主資本合計	6,235,906	5,340,611
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△3,604	△2,003
評価・換算差額等合計	△3,604	△2,003
新株予約権	2,912	4,368
純資産合計	6,235,214	5,342,976
負債純資産合計	11,018,348	8,119,859

(2)【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	7,888,585	11,617,945
売上原価	3,165,794	4,718,863
売上総利益	4,722,790	6,899,081
販売費及び一般管理費	3,074,861	4,797,799
営業利益	1,647,928	2,101,281
営業外収益		
受取利息	12,390	9,744
受取配当金	—	1,119
その他	2,084	2,160
営業外収益合計	14,474	13,023
営業外費用		
株式交付費	407	19
創立費	563	—
為替差損	—	337
営業外費用合計	971	357
経常利益	1,661,432	2,113,948
税金等調整前四半期純利益	1,661,432	2,113,948
法人税、住民税及び事業税	749,173	1,054,496
法人税等調整額	△40,697	△142,027
法人税等合計	708,476	912,469
四半期純利益	952,955	1,201,479

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,661,432	2,113,948
減価償却費	75,895	91,375
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△14,578	△24,747
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	21,648	60,825
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	34,510	49,850
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	12,359	18,258
受取利息及び受取配当金	△12,390	△10,863
売上債権の増減額 (△は増加)	△496,111	△1,268,120
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△161,259	△628,384
仕入債務の増減額 (△は減少)	△35,463	193,728
受託販売預り金の増減額 (△は減少)	394,392	1,445,996
未払金の増減額 (△は減少)	18,490	343,152
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△31,241	△2,011
その他	1,252	△20,426
小計	1,468,936	2,362,581
利息及び配当金の受取額	9,764	11,194
法人税等の支払額	△880,278	△1,157,330
営業活動によるキャッシュ・フロー	598,422	1,216,445
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△152,367	△112,774
無形固定資産の取得による支出	△40,773	△1,758
敷金の差入による支出	△1,200	△493
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△31,008	—
その他	△1,316	△1,434
投資活動によるキャッシュ・フロー	△226,664	△116,461
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	10,198	1,800
配当金の支払額	△240,784	△309,460
財務活動によるキャッシュ・フロー	△230,585	△307,659
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	△410
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	141,172	791,914
現金及び現金同等物の期首残高	4,392,477	5,113,086
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,533,650	5,905,001

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

全セグメントの売上高の合計、営業利益の合計額に占めるEC事業の割合が、いずれも90%を超えるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

全セグメントの売上高の合計、営業利益の合計額に占めるEC事業の割合が、いずれも90%を超えるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

在外子会社及び重要な在外支店がないため、記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

在外子会社及び重要な在外支店がないため、記載を省略しております。

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

海外売上高がないため、該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

海外売上高がないため、該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。